

履修の手引

令和7年度

2025



島根大学生物資源科学部

学生番号：

氏名：

地域人材育成コースの教育プログラムについて

(地域志向入試を経て入学した学生が対象)

(1) 地域人材育成コースの概要について

島根大学では、全ての学部・に地域人材育成コースを設置しています。このコースでは、自らの専門性を活かしながら多様な人材と協働して課題解決に取り組むことができ、卒業後に山陰地域で活躍する人材の育成を狙いとした学部横断的な教育プログラムを実施しています。各学部の「地域志向入試」を経て入学した学生は、地域人材育成コース生として、他学部を含む学生同士で協働して地域課題の解決に向けた活動を行うことが求められます。

生物資源科学部では、各学科毎に示している育成する人材像のとおり、将来、農林水産業を中心に主体的に地域社会の発展や課題解決に貢献できる人材に成長することを狙っています。

(2) 履修資格及び履修方法について

・履修資格

地域志向入試を経て入学した学生

・履修方法

所属する学科又はコースで開講している授業に加えて、P139以降の履修表に記載されている授業（地域人材育成コースの教育プログラム）を履修すること

(3) 地域人材育成コースの教育プログラム内容について

・ベースストーン（BS）科目

地域の基礎的な現状と課題について学修する科目（1～2年生向け）

・キャップストーン（CS）科目

身に付けた知識と経験を地域課題の解決に資する能力の修得につなげる科目（2～3年生向け）

・地域貢献インターンシップ

就業体験を通して地域の課題解決に挑戦し、地域の未来を自ら提案、実践していくための力を養う科目（2～3年生向け）

(4) 「キャリアデザインプログラム（CDP）」の履修について

CDPは、クロス教育テーマ別プログラムとして開設する「CDPベーシック」と特別教育として開設する「CDPマスター」で構成するプログラムです。地域人材育成コース生向けに実施される入学セミナー等で詳細を確認し、履修することを推奨します。

【参考 URL】

・CDPベーシック（クロス教育のサイト）

https://www.shimane-u.ac.jp/education/school_info/edu_programs/crosseducation/index.html

・C D P マスター <https://career.shimane-u.ac.jp/gakusei/cdp.html>



(5) 地域人材育成コース「コース生プロジェクト」について

地域人材育成コースは、授業科目だけではなく、地域の企業や自治体等と連携したプロジェクト活動を行っています。詳細は地域人材育成コースのWEBページを参照ください。



【参考 URL】<https://www.reg-collab.shimane-u.ac.jp/CRE/index.html>

(6) 修了要件（下記の①、②をいずれも満たすこと）

①所属する学科又はコースの卒業要件を満たすこと

②P137以降の履修表に記載されている単位を修得すること

※修了要件を満たした学生には卒業時に修了認定証書が授与されます

(7) 地域人材育成コース担当教員について

地域人材育成コースには地域未来協創本部の専任教員に加えて、各学部の兼任教員が携わっています。コース生プロジェクトや履修に関することなど、不明な点があれば担当教員に相談してください。

生物資源科学部における地域人材育成コースに関する取扱要項

(平成28年1月27日生物資源科学部長決裁)

[令和7年2月19日最終改正]

(趣旨)

第1条 この要項は、地域人材育成コースに関する取扱要項（平成26年12月25日学長決裁。以下「取扱要項」という。）第7条の規定に基づき、生物資源科学部における地域人材育成コースの教育プログラムに関し、必要な事項を定めるものとする。

(育成する人材像)

第2条 生物資源科学部における地域人材育成コースでは、学科等ごとに、以下の各号に掲げる人材を育成する。

一 生命科学科

山陰地域を取り巻く現状や生物相に興味を持って深く理解し、ライフサイエンスやバイオテクノロジーに関する基礎学力と技術を修得することで培った生命科学に関する基礎学力と論理的な思考力を使って、主体的に地域社会の発展や課題解決に貢献できる人材を育成する。

二 農林生産学科

作物生産・畜産・園芸・農業経済・森林・林業に関する幅広い知識と技術をフィールドでの活動や講義を通じて学修し、農林水産業が基幹となっている山陰地域において産官学と連携して農林水産業とそれを取り巻く地域社会の課題解決や振興に貢献できる人材を育成する。

三 環境共生科学科

環境調和型社会の構築を目指し、土・水・生物などの資源の調査・評価、及び、生態環境を総合的に保全・管理するための知識と技術を習得し、社会に貢献できる人材、中でも山陰地域に魅力を感じ、地域社会の持つ豊かさや課題を深く理解し、地域社会の活性化に貢献できる人材を育成する。

(教育プログラム)

第3条 教育プログラムは、次のとおりとする。

一 ベースストーン科目

二 キャップストーン科目

三 地域貢献インターンシップ

四 地域人材育成コースセミナー

(履修資格及び修了要件等)

第4条 前条の教育プログラムの履修資格、構成する授業科目、履修方法及び修了要件単位数等並びに取扱要項第10条に規定する修了認定証書を交付できる要件等については、別紙に定めるところによる。

(事務)

第5条 地域人材育成コースに関する事務は、松江地区学部等事務部学務課において処理する。

(雑則)

第6条 この要項に定めるもののほか、教育プログラムの実施に関し、必要な事項は別に定める。

附 則

この要項は、平成28年4月1日から実施する。

附 則

この要項は、平成29年4月1日から実施し、平成29年度入学生から適用する。

附 則

- 1 この要項は、平成30年4月1日から実施し、平成30年度入学生から適用する。
- 2 平成29年度以前の入学生については、改正後の島根大学生物資源科学部におけるCOC人材育成コースに関する取扱要項の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

- 1 この要項は、平成31年4月1日から実施し、平成31年度入学生から適用する。
- 2 平成30年度以前の入学生については、改正後の島根大学生物資源科学部におけるCOC人材育成コースに関する取扱要項の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（令和2年2月19日一部改正）

- 1 この要項は、令和2年4月1日から実施し、令和2年度入学生から適用する。
- 2 令和元年度以前の入学生については、改正後の島根大学生物資源科学部におけるCOC人材育成コースに関する取扱要項の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（令和3年2月17日一部改正）

この要項は、令和3年2月17日から実施する。

附 則（令和3年3月17日一部改正）

- 1 この要項は、令和3年4月1日から実施し、令和3年度入学生から適用する。
- 2 令和2年度以前の入学生については、改正後の生物資源科学部における地域人材育成コースに関する取扱要項の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（令和4年2月16日一部改正）

この要項は、令和4年4月1日から実施する。

附 則（令和4年3月22日一部改正）

この要項は、令和4年4月1日から実施する。

附 則（令和5年2月22日一部改正）

- 1 この要項は、令和5年2月22日から実施し、令和4年4月1日から適用する。
- 2 令和3年度以前の入学生については、改正後の生物資源科学部における地域人材育成コースに関する取扱要項の規定にかかわらず、なお従前の例による。ただし、令和4年度以降のキャップストーン科目「地域課題解決プロジェクトB」については、「地域プロジェクト型実習」を読み替えて履修するものとする。

附 則（令和5年3月15日一部改正）

- 1 この要項は、令和5年4月1日から実施する。
- 2 令和4年度以前の入学生については、改正後の生物資源科学部における地域人材育成コースに関する取扱要項の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（令和6年2月21日一部改正）

- 1 この要項は、令和6年4月1日から実施する。
- 2 令和5年度以前の入学生については、改正後の生物資源科学部における地域人材育成コースに関する取扱要項の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（令和7年2月19日一部改正）

- 1 この要項は、令和7年4月1日から実施する。
- 2 令和6年度以前の入学生については、この要項による改正後の生物資源科学部における地域人材育成コースに関する取扱要項の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別紙

教育プログラム（6 単位以上）

履修資格

本プログラムの履修資格は、次のとおりとする。

- 一 地域志向入試を経て令和3年度以降に入学した者。

修了要件

次の要件をすべて満たすこと。

- 一 所属する学科・コースの卒業要件を満たすこと。
- 二 下記履修表により、ベースストーン科目から2単位以上、キャップストーン科目から2単位以上及び地域貢献インターンシップから1単位以上をそれぞれ修得し、合計6単位以上を修得すること。

構成する授業科目及び履修方法

- 一 所属する学科・コースの履修表により履修すること。
なお、履修年次等は年度ごとに配付する「授業科目一覧」を参照すること。
- 二 地域人材育成コースの趣旨を理解し、積極的に全学基礎教育科目を修得するよう心掛けること。
- 三 地域未来協創本部が開催する、正課外の地域人材育成コースセミナーに積極的に参加すること。
- 四 下記履修表に掲げられた授業科目は、卒業要件単位に含めることができる。

生命科学科

ベース ス ト ー ン 科 目	科目区分	授業科目名	単位数	必修	選択 必修	選択
	全学基礎教育科目	プロジェクトデザイン	2			*
		イノベーション創成基礎セミナーⅠ	2	2		
		イノベーション創成基礎セミナーⅡ	2			*
		島根学	2			
		ジオパーク学入門	2			
	専門教育科目	生命科学基礎セミナーⅠ	2	2		
		生命科学基礎セミナーⅡ	2	2		
	合 計					8 以上

履修上の注意

- 一 選択の*から履修することを推奨する。

キ ャ ツ プ ス ト ー ン 科 目	科目区分	授業科目名	単位数	必修	選択 必修	選択	
	全学基礎教育科目	地域プロジェクト型実習	2	/	/	*	
	専門教育科目	食品機能学	2			2	/
		水圏・多様性生物学実験Ⅰ	2	/			
		水圏・多様性生物学実験Ⅱ	2			/	*
		臨海実習Ⅲ	1				
	合 計					2 以上	

履修上の注意

- 一 選択の*から履修することを推奨する。

地域貢献 インターン シップ	科目区分	授業科目名	単位数	必修	選択 必修	選択
	全学基礎教育科目	地域共創インターンシップ A	2	/	1	/
		地域共創インターンシップ B	2			
		地域共創インターンシップ C	4			
	専門教育科目	就業体験Ⅰ	1			
		就業体験Ⅱ	1			
	合 計					

農林生産学科資源作物・畜産学コース

科目区分	授業科目名	単位数	必修	選択必修	選択
全学基礎教育科目	プロジェクトデザイン	2			*
	汽水域の科学（入門編）	2			
	イノベーション創成基礎セミナーI	2	2		
	イノベーション創成基礎セミナーII	2			
	島根学	2			*
	ジオパーク学入門	2			
専門教育科目	農林生産基礎セミナー	2	2		
	農業生産の基礎	2	2		
	生物資源と農学	2			*
合 計			6 以上		

履修上の注意

- 一 選択の*から履修することを推奨する。

キャン プス ト ー ン 科 目	科目区分	授業科目名	単位数	必修	選択 必修	選択
	全学基礎教育科目	地域プロジェクト型実習	2			*
	専門教育科目	農業生産学基礎実験II	2	2		
		資源作物学	2			*
		家畜栄養学	2			
	合 計				2 以上	

履修上の注意

- 一 選択の*から履修することを推奨する。

地域貢献 インターン シップ	科目区分	授業科目名	単位数	必修	選択 必修	選択
	全学基礎教育科目	地域共創インターンシップ A	2	/	1	/
		地域共創インターンシップ B	2			
		地域共創インターンシップ C	4			
	専門教育科目	就業体験Ⅰ	1			
		就業体験Ⅱ	1			
	合 計					

農林生産学科園芸植物科学コース

ベース
ス
ト
ー
ン
科
目

科目区分	授業科目名	単位数	必修	選択 必修	選択		
全学基礎教育科目	プロジェクトデザイン	2			*		
	汽水域の科学（入門編）	2					
	イノベーション創成基礎セミナーI	2	2				
	イノベーション創成基礎セミナーII	2					
	島根学	2					
	ジオパーク学入門	2					
専門教育科目	農林生産基礎セミナー	2	2				
	農業生産の基礎	2	2				
	生物資源と農学	2			*		
合 計			6 以上				

履修上の注意

- ー 選択の*から履修することを推奨する。

キャン プ ス ト ー ン 科 目	科目区分	授業科目名	単位数	必修	選択 必修	選択
	全学基礎教育科目	地域プロジェクト型実習	2			*
	専門教育科目	農業生産学基礎実験II	2	2		
		果樹園芸学	2			*
		野菜園芸学	2			
		植物利用化学	2			
	合 計				2 以上	

履修上の注意

- ー 選択の*から履修することを推奨する。

地域貢献 インターン シップ	科目区分	授業科目名	単位数	必修	選択 必修	選択
	全学基礎教育科目	地域共創インターンシップ A	2		1	
		地域共創インターンシップ B	2			
		地域共創インターンシップ C	4			
	専門教育科目	就業体験Ⅰ	1			
		就業体験Ⅱ	1			
	合 計				1 以上	

農林生産学科農業経済学コース

ベース ス ト ー ン 科 目	科目区分	授業科目名	単位数	必修	選択 必修	選択
	全学基礎教育科目	山陰の歴史-近世・近現代-	2	/	/	*
		プロジェクトデザイン	2			
		イノベーション創成基礎セミナーI	2	2		/
		イノベーション創成基礎セミナーII	2	/		
		島根学	2			
		ジオパーク学演習	2			
	専門教育科目	農林生産基礎セミナー	2	2		/
	合 計					4 以上

履修上の注意

- 一 選択の*から履修することを推奨する。

キ ャ ッ プ ス ト ー ン 科 目	科目区分	授業科目名	単位数	必修	選択 必修	選択
	全学基礎教育科目	地域プロジェクト型実習	2		2	
	専門教育科目	農業経営学	2	2		
		食と農の地域学	2	2		
	合 計				6	

地域貢献 インターン シップ	科目区分	授業科目名	単位数	必修	選択 必修	選択
	全学基礎教育科目	地域共創インターンシップA	2		1	
		地域共創インターンシップB	2			
		地域共創インターンシップC	4			
	専門教育科目	就業体験Ⅰ	1			
		就業体験Ⅱ	1			
	合 計				1 以上	

農林生産学科森林学コース

	科目区分	授業科目名	単位数	必修	選択必修	選択
ベース ス ト ー ン 科 目	全学基礎教育科目	プロジェクトデザイン	2	2		*
		イノベーション創成基礎セミナーⅠ	2			*
		イノベーション創成基礎セミナーⅡ	2			
		島根学	2			
		ジオパーク学入門	2			
		フィールドで学ぶ「斐伊川百科」	2			
	専門教育科目	農林生産基礎セミナー	2	2		
	合 計			4 以上		

履修上の注意

- 一 選択の*から履修することを推奨する。

キャンパス ス ト ー ン 科 目	科目区分	授業科目名	単位数	必修	選択必修	選択
	全学基礎教育科目	地域プロジェクト型実習	2	/	/	*
	専門教育科目	森林学実習	1			
		森林GIS実習	1			
		林業技術実習Ⅰ	1			
		林業技術実習Ⅱ	1			1
	合 計				2 以上	

履修上の注意

- 一 選択の*から履修することを推奨する。

	科目区分	授業科目名	単位数	必修	選択必修	選択
地域貢献 インターン シップ	全学基礎教育科目	地域共創インターンシップA	2		1	
		地域共創インターンシップB	2			
		地域共創インターンシップC	4			
	専門教育科目	就業体験Ⅰ	1			
		就業体験Ⅱ	1			
	合 計					

環境共生科学科

	科目区分	授業科目名	単位数	必修	選択 必修	選択
ベース ス ト ー ン 科 目	全学基礎教育科目	プロジェクトデザイン	2	2		*
		イノベーション創成基礎セミナーI	2			*
		イノベーション創成基礎セミナーII	2			
		島根学	2			
	専門教育科目	環境共生科学基礎セミナー	1	1		
	合 計			5 以上		

履修上の注意

- 一 選択の*から2単位履修すること。

キャンパス ス ト ー ン 科 目	科目区分	授業科目名	単位数	必修	選択 必修	選択
	全学基礎教育科目	地域プロジェクト型実習	2			2
	専門教育科目	天敵利用学	2			
		植物保護学	2			
		地域計画学	2			
		バイオマス利用学	2			
	合 計				2 以上	

地域貢献 インターン シップ	科目区分	授業科目名	単位数	必修	選択 必修	選択
	全学基礎教育科目	地域共創インターンシップA	2		1	
		地域共創インターンシップB	2			
		地域共創インターンシップC	4			
	専門教育科目	就業体験I	1			
		就業体験II	1			
	合 計				1 以上	